

2026年度事業計画

1. 学術大会の開催

室内環境学会学術大会を開催し、総会、研究発表会を行う。

2. 出版

学会誌「室内環境」を3号刊行する。

室内環境学会学術大会講演要旨集を電子形式で刊行する。

学会誌「室内環境」の電子化への移行を実行する。

3. ニュースレター発行

ニュースレターをメール配信する。

4. 理事会等の開催

理事会、評議員会を定期に開催する。

5. 委員会開催

下記の委員会を定期に開催し、学会活動の活性化を図る。

1) 総務委員会：学会の事務処理全般、各委員会活動の補助などを行う。

2) 財務委員会：学会の財務および会計に関する管理、助言、提案などを行う。

3) 学術委員会：分科会活動の活性化、研究助成に関わる業務、諸外国の室内環境に関する様々な情報収集および発信などを行う。

4) 出版委員会：学会誌の発行、書籍の出版などを行う。

5) 表彰委員会：表彰制度の検討、授賞者の選考、名誉会員の推挙などの表彰に係わる業務などを行う。

6) 若手活性化委員会：学生懇談会の企画、若手会員の交流や人材発掘など、若手会員の活性化と育成に係わる業務などを行う。

7) 事業委員会：講演会の開催、講習会の企画・開催、書籍の企画などの業務、測定及び分析法等の標準化に係わる業務、及び本会の標準法準拠商標管理や活用に係わる業務などを行う。

8) 社会連携委員会：学会 HP の Q&A 集の改訂を行う。国内の他機関や諸外国の学協会等と共同で行う事業に係わる業務などを行う。

9) 広報委員会：HP の管理や広告活動など、本会の広報活動に係わる業務などを行う。

6. 支部の活動

各支部の活動を推進する。

7. 事業活動の推進

室内環境に関わる学術および技術情報の普及・啓発を目的として、講演会・シンポジウムの開催を推進する。

8. 調査研究助成の推進

室内環境学会員の調査研究活動を活性化し、室内環境に関わる学術および技術の発展に寄与することを目的として、調査研究助成を推進する。

9. その他

韓国、台湾の室内環境学会などとの国際連携を推進する。

必要に応じてワーキンググループを設置し、学会活動を支援する。

事務局運営の向上を図る。

学会の健全運営を目指し、会費の見直しを含めた事業収支の改善を進める。

学会活動の活性化に係わる各種の取り組みを検討する。